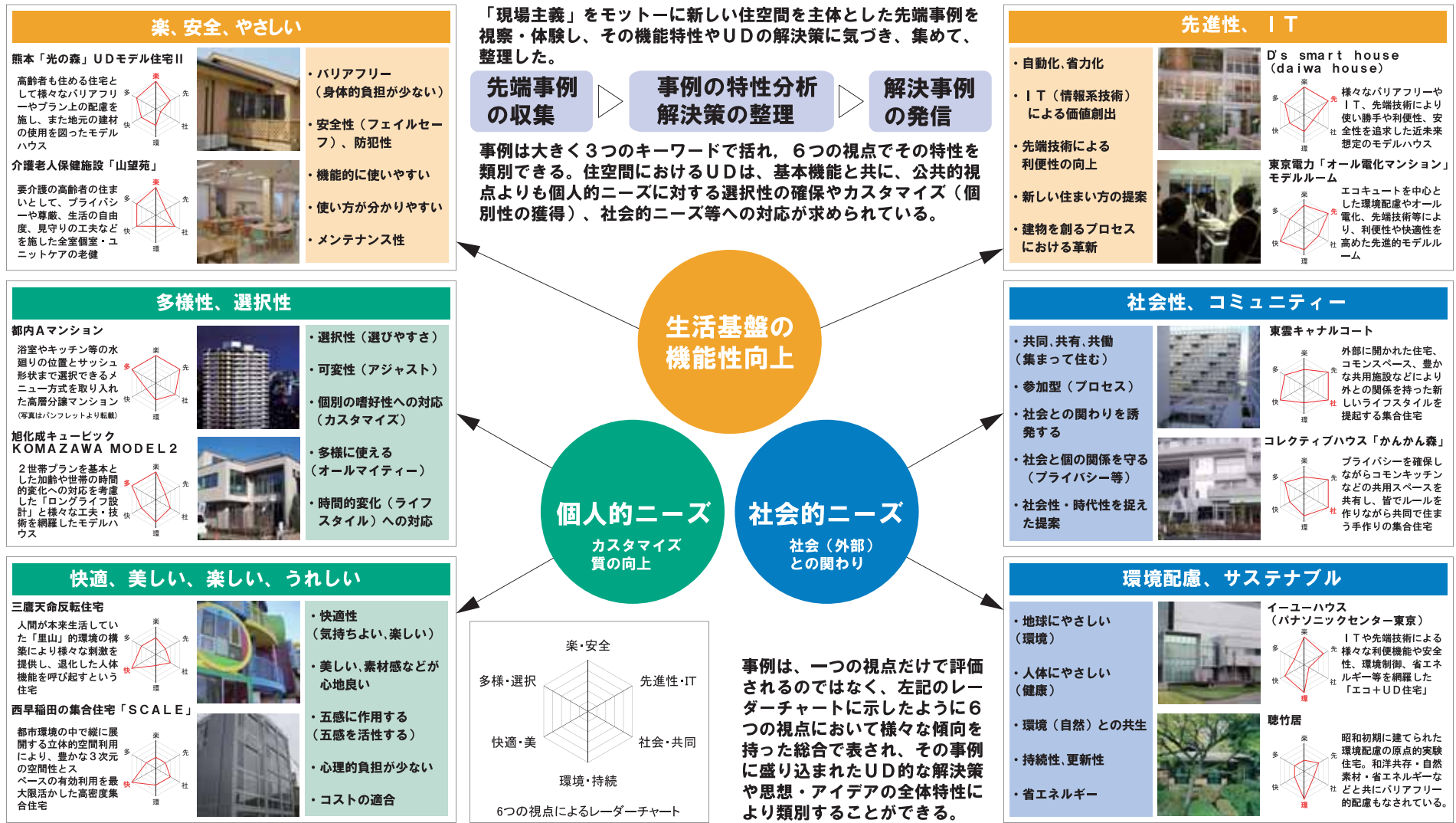


住空間の先端事例からみたユニバーサルデザイン解決の視点

研究開発企画部会
住空間プロジェクト

主査:宮脇伸歩
副主査:西田達生

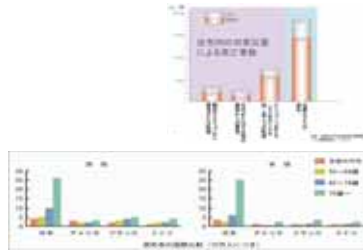


日本の特異性と浴室のユニバーサルデザイン

研究開発企画部会
住空間プロジェクト

主査:宮脇伸歩
副主査:前田雅信

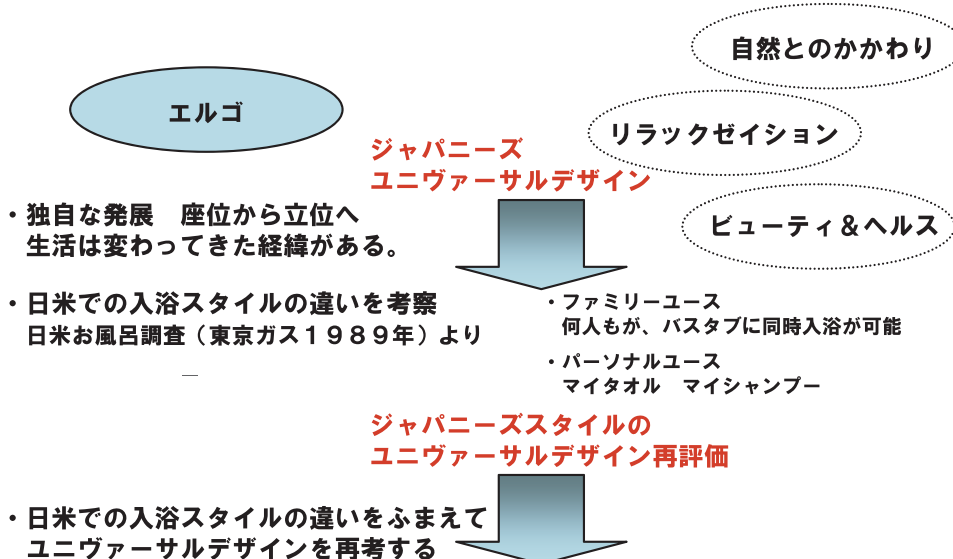
日本のなかでは、ユニバーサルデザインという眼で見ると昔よりいきている知恵があります。また、入浴行為に関してはその習慣の違いから、独特のユニバーサルデザイン的な進化をしていますので、日本の住文化の国際的な違いに触れ今後の展開について考察を行いました。右図は日本の不慮の事故死ですが、特に入浴死では、日本では10万人当たり高齢者では25人を超えています、アメリカでは3人以下で大きく違います。



日本文化の特異性

玄関で靴を脱ぐ
段差が多い
たたみ、床座を好む
風呂には、洗い場と脱衣場がある

部屋に自然を取り込む
縁空間がある
素材(木、和紙等)を生かす
etc



入浴におけるユニバーサルデザインの再構築

ジャパニーズ・スタイル(入浴)

先進事例を見るUD評価-6つの視点から比較 ☆日本★米



UD評価 6つの視点	欧米スタイル	ジャパニーズスタイル
やさしい、楽、安全	暖房付きの浴室とシャワー浴は血圧の面で安全である。	段差のない入り口 エプロンの低さ すすりの設置
先進性、IT	-	テレビ、AVなどハイテク機器 自動洗浄装置
多様性、選択性	シャワー浴は朝・リラックスしたい時のバスタブ入浴を使い分けしている	銭湯・スパの利用 半身浴との併用
快適、美しい、楽しい、うれしい	スペースデザインを優先して個人的なつらえ	肌さわりのいい木のタブ 自然とのふれあい(坪庭) ジェット風流バス
環境、サステナブル、持続性	毎回湯を入れ替える入浴スタイル。入れ替えても、清潔でないと思う人もいる	同じ湯に同時入浴、複数回清潔に入浴できるスタイルは環境にやさしい 冷めない魔法瓶浴槽
社会性、コミュニティ	-	親子同時入浴のためのスペース